

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 都筑中川教室

保護者等数(児童数)※家庭数 15名 回収数15件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			1	・ちょうど良い広さだと思います。 ・面談等で何うと、いつも整理整頓がされています。	身支度をスムーズに出来るようなスペース作りなど、安全な支援に向けて構造化を図っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			2	・利用日に職員の方が何名いらっしゃるかまでは把握できておりません。	児童の人数や、児童の様子に応じて、常にゆとりのある配置を意識している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1	・利用開始直後のため、分かりません。	玄関前やトイレの段差では必ず職員が手を繋ぎ、危険のないように徹底している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・危険のないように細かい部分も工夫されています。	清潔な環境で過ごせるように日々の掃除や消毒なども欠かさずに行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1		1	・それぞれのペースに合わせたサポートをさせていただいています。	それぞれの特性を理解し、職員間での情報共有により、声掛け方法など共通認識のもと支援を行っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				・色々な活動をさせていただいています。	多種多様な活動を取り入れることで、児童の経験値を増やしていただけるような支援内容を考えている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1			・今後、子どもに必要なスキルを目標に盛り込まれていると思います。	課題設定では、スモールステップを徐々に積み重ねていけるように作成を心掛けている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			2	・子どものことを理解していただき、丁寧に対応して下さっていると感じます。	日々の児童の様子や保護者さまのご要望を丁寧に聞き取り、職員と相談しながら児発管が取りまとめて作成している。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				・不安や不満に思った事がありません。	職員間でコミュニケーションを取りながら、全員が共通認識をもって支援が出来ている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		3	・常に充実したプログラムを組んで頂いていると思います。 ・毎回違うプログラムや子どもたちが楽しめるプログラムを考えてくださっています。 ・利用開始直後のため、分かりません。	たくさんの職員からの意見を取り入れ、児童が楽しみながら学びのある活動を工夫をしている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		6	・外での活動も充実していると思います。 ・利用開始直後のため、分かりません。	保育園や幼稚園、療育園と併用している方が多く、日曜的には積極的な交流は行っていません。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・契約時に説明がありました。	管理者が契約時に説明を行っている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・いつも丁寧に話を聞いていただいています。時間をかけて丁寧な説明をさせていただいていると思います。	定期的な面談、日々の連絡帳、送迎時のやり取りなど、丁寧にお知らせする努力を今後も継続したい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		2	・利用開始直後のため、分かりません。	ペアトレの実施は検討中。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15				・相談がしやすいと思っています。	常に相談しやすい環境作りを心掛けている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10		1	4	・利用開始直後のため、分かりません。	安心してご利用いただけるように、児童や保護者さまに寄り添う気持ちを大切にしていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・どの職員の方も子どもにも母にも共感して下さり、とても話しやすいですし安心出来ます。	児童や保護者さまの気持ちを受け止め、今後も丁寧な支援を継続したい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10		1	4	・利用開始直後のため、分かりません。	現在は年1回の保護者会を開催している。※今年度はインフルエンザ流行警報のため延期。 大切な機会ではあるが、参加が難しい方もいらっしゃるため、参加形式についても検討していきたい。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			1	・どの先生からも、いつも優しくご対応いただいています。とてもありがたいです。	管理者が早期に対応出来るようにしている。管理者だけではなく、常に職員同士で連携を取っている。
保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			・いつも丁寧に話を聞いていただいています。	児童の変化に配慮し、保護者さまとの情報共有をしながら、今後も丁寧に対応していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14			1	・SNSで発信されている活動を拝見しています。 ・ごぼんはうすさくらだよりを毎回楽しみにしています。	毎月のごぼんたよりにて支援の内容や児童の様子をお伝えしているほか、Instagramやごぼん通信として積極的な発信を心掛けている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2		1	・不安を感じたことはありません。 ・契約時に説明がありました。	書類は鍵付きのロッカーに保管するなど、十分に配慮をしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		2	・利用開始直後のため、分かりません。	各マニュアルは作成しており、定期的な避難訓練のほかプログラムにも取り入れるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		2	・定期的に避難訓練を実施されている事は把握しています。 ・利用開始直後のため、分かりません。	年に2回の避難訓練を行っている。職員の対応や、公式LINEでの緊急連絡が出来る体制を整えたい。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		1	・利用開始直後のため、分かりません。	活動中は常に安全に配慮することを意識して支援を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	3			・利用開始直後のため、分かりません。	活動中に怪我が生じた場合には、迅速に対処し、ご様子をお伝えしている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				・先生や友だちの顔や名前を覚え、安心して通所しています。 ・通い始めたばかりですが、先生たちにも慣れてきています。	職員全員が愛情を持って関わり、今後も信頼関係を築きながら、安心した環境を提供していきたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				・毎回楽しみに通所させていただいています。いつもとても楽しそうです！ ・特にイベント参加を楽しみにしています。	☆活動を楽しみにしてくれたり、日常の出来事を報告してくれることも多いです。たくさん笑顔が見られることが職員にとって励みになります☆
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・親子で参加できるイベントを開催して下さっていること等、とても満足しています。 ・とても満足しています。	児童にも保護者さまにも、今後も安心して楽しくご利用していただけるように丁寧な支援を行いたい。 ☆嬉しいお言葉に感謝しております☆

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 都筑中川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	13		・集団、個別それぞれのプログラムを行う上で、ちょうど良い広さである。 ・適切な人数で安全に支援が出来るスペースがある。	広々と危険のないように、状況に応じて構造化を図りたい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		・ゆとりを持って子どもたちと関わる事が出来る配置となっており、適切である。 ・職員人数は常に多めの配置なので、手厚い支援が出来る。	必要な人数以上を配置し、常にゆとりを持った支援が出来るようにしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		・視覚的にスケジュールが確認できるようになっており、職員も児童も分かりやすいと思う。 ・文字の読めない子にも伝わるように、写真を活用した視覚支援を行っている。 ・トイレのみ段差があるが、職員の見守り体制が出来ている。	児童の様子に合わせて細やかな対応を考え、リスクのない環境作りを継続する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・毎日の掃除を徹底している。生活空間は資格を減らし、見渡せるようになっている。 ・事故や怪我防止のため、クッション性の高い素材を多く使用している。 ・活動を広々と行えるように確保出来ている分、収納が少なく工夫が必要。	日々の掃除や感染症対策は継続している。定期的に細かい所の掃除も行っていきたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	・クールダウンが必要な時など、別室で対応出来る。 ・相談室に準備物を置くこともあり、常に使用できる状態を整えたい。 ・児童用トイレが1つなので、人数が多い場合には待ち時間を要する。 ・部屋数は少ないが、状況に応じて個別での対応を行っている。	空間を区切ったり、別室でのクールダウンを行う場面もあるが、児童の応じた対応が不可欠だと感じている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13		・毎朝のミーティング等で、様々な変化も共有できている。 ・日頃から職員同士で相談がしやすい。 ・日報や支援経過記録で、より具体的に記入することで改善を進めやすい。	日頃より職員間のコミュニケーションを大切にしている。 シフトの都合で全員が揃う事は難しく、書面などでの共有も継続している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・送迎時の会話や連絡帳、電話等でご家庭のニーズを汲み取れている。 ・有資格者の助言や周知、活用がされている。 ・アンケートの実施において、共感の声や感謝の声があり、大変ありがたい。	アンケート結果を周知して話し合いを行い、感謝の言葉もありがたく受け止めながら、日々の支援に繋げられるようにしていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・定期的なミーティングがあり、職員間で話し合える機会がある。	日頃から意見交換を行い、常に良い支援が出来るように相談している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	4	・本部とのやり取りがあるとおもうが、詳細は分からない。	機会があれば外部からのご意見もいただきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	・支援に関する研修を全体で増やしたい。 ・数人ずつ外部の研修に参加し、報告書として全体に共有できると良い。 ・事業所内での研修では相談もでき、学んだことを支援の場で実践している。	一度に全員が集まることは難しく、全体に周知徹底ができるように配慮している。 外部研修も増やしたい。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		・職員全員で意見を出し合いながら、生活、運動、工作など、季節や子どもたちに合ったプログラムが作成されている。 ・様々な意見があり、職員にとっても学びとなっている。 ・毎月のおたよりでお知らせしている。	児童の成長段階を含め、ニーズに合った様々な経験が出来るように工夫していく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13		・面談等で、お互い合意のもと作成されている。 ・参加できる職員は全員ではないが、日頃からの報告も含めたアセスメントは効果的である。	定期的なカンファレンスのほか、日々の支援経過記録を参考に、児発管が作成をしている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・職員間で共有されており、シフトによって交流の少ない児童の様子を知ることが出来、とても大切なコミュニケーションであると思っている。	職員の見立てや日々の支援経過記録をもとに、今後も適切な計画が出来るように多くの意見を参考に、児発管が取りまとめていく。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		・支援計画の内容が職員間で正しく共有され、一貫性のある対応がされている。 ・支援経過記録や計画書のチェックで把握した状態で支援に入っている。	書面での共有だけに限らず、支援の中で雰囲気について、職員間で相談や共有を日常的に行っている。

適切な支援の提供

関係機関や保護者との連携

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		・支援経過記録は、誰が読んでも分かりやすいように、その時の様子を詳しく記録している。 ・具体的に記入するため、文章は長く、インフォーマルなアセスメントとなっている。	最新の状況を知るために、細かく記入されている記録を確認し、支援に備えている。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		・健康、生活、運動感覚などを意識したプログラムが設定されている。ご家族の支援や地域連携などの支援内容も設定されている。 ・保護者さまからのアンケートや面談での聞き取りをしてから作成している。本人の状態や保護者さまの希望をふまえての内容となっている。 ・地域連携は不足している。	地域連携は難しいと感じているが、適切な支援に向け、聞き取りやニーズを大切に考えている。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・全職員が案を出し、アレンジしながら作成をしている。 ・アイデアを出しやすい環境のため、前向きに新しいことにもチャレンジ出来ている。	多くのアイデアを出しやすい環境であり、多様なプログラムを提供できる。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		・毎月、過去プログラムの共有もしながら、工夫をしている。多くの意見交換により、協力を得られより良いものが出る。 ・多様な内容を保管しており、集団プログラムだけではなく個別活動の参考にも活用できている。 ・週に複数実用のある児童には、別日のプログラムを行うこともあり、多彩である。	たくさんの案を出し合い、その時の児童に応じて適切なプログラム作成をしている。同じ内容を繰り返すことで理解が深まることもあり、少しずつ変化しながら継続していきたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13		・子どもたちが興味を持って楽しく取り組める等に工夫している。 ・様々な活動を組み合わせ、集団だけではなく個別活動の充実も図っている。	個別の教具は職員の手作りが多く、児童にも好評で、今後も楽しみながら学んで欲しい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		・出勤時間が異なる場合でも、支援に入る前には必ず記録や会話で様子を確認している。 ・送迎時の申し送り等も必ず共有し、日々の支援に反映させている。	支援をスムーズに行うために、事前の打ち合わせを行う。シフトがずれる職員にも必ず共有し、偏った支援にならないように意識している。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	・退勤時間が異なるが、共有できている。いつでも職員間で確認出来る環境である。 ・支援記録の記入時間に会話もしながら、フィードバックをしている。	報告や相談、共有は徹底されているので、今後も継続したい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		・その日のうちにしっかりと個人記録を記入するようにしている。出来た事や小さな変化にも注目し、支援の検証や改善に繋げている。 ・個々に落ち着ける教具などがあれば、情報をシェアしている。	記録は必ず行っている。また特記事項については記録以外にも話し合いを持ち、改善に繋げていく。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		・面談等のタイミングでアセスメントを行い、更新されている。	定期的なカンファレンスのほか、個々の相談や会議など、より多くの職員から意見を求めるようにしている。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		・管理者が参画している。	管理者が参加しているが、スケジュール調整が難しく参加出来ないこともある。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・主に管理者が、療育センターや他事業所との連携を行っている。 ・必要な時に連携が取れるよう、体制を整えている。	必要な連絡がある場合は、保護者さまのご理解のもとで積極的に連携をしている。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	・必要があれば情報提供を行う準備をしている。	同上
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2	・必要があれば情報提供を行う。	今後も、保護者さまからの相談や、園や就学先の学校からのご意向には出来る限り対応する準備をしている。
28	(28～30は、センターのみ回答)				
29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	3	・管理者が行っている。	相談支援員とのやり取りは管理者が行い、職員共有を行っている。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11	・事業所としての地域交流は難しく、行っていない。 ・積極的な交流はないが、散歩や公園遊びなどを通じて、挨拶や社会性の芽生えを大切に支援している。	地域交流は難しい。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		・送迎時の会話や連絡帳、電話等で共通理解 を持っている。 ・時間の許す限り多くの悩みや状況を把握す るようにしている。 ・定期的に児発管が面談を行い、情報共有が ある。	日常的に相談しやすい環境作りを大切に している。また、小さな変化にも気付く ように意識している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加 できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	1	・送迎時に話をしたり、アンケートなどで聞 き取りもしている。 ・作業療法士を中心とした会議を経て、『こ ぼん通信』として情報提供を行っている。	保護者会の開催時期や方法を見直した い。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	13		・毎回お伝えすることは難しいが、契約や面 談等のタイミングで説明をしている。 ・説明をしていても、認識にずれが生じるこ ともあるため、確認できるようになると良い と思う。	契約時に説明をしているが、定期的な確 認をしていく必要もあるように感じる。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		・契約前の見学段階から、ご家族の意向を 確認している。	大人の見立てだけにならないように、児 童のことを一番に考え、共通理解をして いきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13		・しっかりと同意を得たうえで、支援を行え ているという認識。	定期的な面談で説明を行い、日々の支援 に繋げていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		・電話やメール、面談などで、管理者が常に 保護者さまに寄り添い、対応をしている。 ・常に相談しやすい環境作りを努めている。 必要に応じて情報共有がある。 ・ご家庭での悩み事などのアンケートを行 い、OT職員を中心となって相談に応じた。	定期的な面談や、連絡帳、送迎時のお話 など、保護者さまとのやり取りは今後も 大切にしていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい るか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援 をしているか。	12	1	・保護者会やこぼんまつりなど、ご家族が教 室の様子がわかることが出来る機会を作るよ うにしている。 ・本来は保護者会の開催もあるが、今年度は 感染症流行のため中止となった。オンライン も検討したい。	保護者会や毎年のこぼんまつりで交流の 機会があるが、今年度は開催が叶わな かった。私たちにとても大切な時間と なっており、今後も継続していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を 整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れ があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		・職員間で早急に共有があり、改善策や対応 策などを話ることが出来る。 ・子育てとしての悩みは共感できることも多 く、多様な意見を集め、対応をしている。	今後も相談しやすい環境作りを心掛け、 常に寄り添う姿勢を大切にしてい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこど もや保護者に対して発信しているか。	13		・Instagramやおたよりで活動の様子を積極 的に発信している。 ・事業所での過ごし方が具体的に伝わるよ うに工夫している。 ・誕生日には普段の様子をおさめた写真デー タをプレゼントしている。	公式LINEを活用し、連絡体制を整えてい る。おたよりでは前月の内容をお伝えし ており、読みやすく伝わりやすい工夫を していきたい。 Instagramや『こぼん通信』での発信も スタートしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		・LINEにアクセスできる職員は管理者一人に 限定し、不要な問題は起きないように配慮し ている。 ・大事な書類は鍵付きのロッカーで保管し、 十分に留意できている。	職員にも契約時に説明があり、個人情報 の保護には十分に配慮している。書類は 鍵付きのロッカーに保管し、厳重に扱う 事が出来ている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	13		・個々にあった対応方法を職員間で話し合 い、共有をしている。 ・職員から発する言葉の重みや責任を理解し ている。	児童の特性を理解し、意思疎通やコミュ ニケーションの取り方は個々に合わせる ことを大切にしてい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	8	5	・特性によっては困難なこともあり、事業所 での安心感や安全を第一に考えている。 ・あまり必要性を感じない。	地域住民のご招待は現実的に難しいと感 じている。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知 するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		・教室内の研修(主に動画研修)として対応 を確認している。 ・大災害時の動きについては再確認が必要だ と感じる。	各マニュアルはあり職員研修も行ってい るが、ご家族への周知方法について模索 中。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に 備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		・防犯防災に関するプログラムで、子ども たちにも呼び掛け、定着を図っている。 ・非常時に備えた訓練は増やしたい。	災害への対応については十分に備えたい と考えている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認しているか。	13		・必ず情報共有がある。対応方法も共有され て、共通認識を持っている。	対象者の情報は職員間で共有され、もし もの場合に備えている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。	13		・アセスメントでの聞き取りから、一覧表が ありすく確認出来るようになってい る。 ・重度の対象者はいないが、準備は出来て いる。	一覧表にして掲示し、いつでも確認でき るようにしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要 な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われて いるか。	13		・安全管理は十分であると感じているが、今 後理解を深めたい。	詳細については周知できていない部分も あると思う。周知徹底をしていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう 、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知してい るか。	13		・契約や面談時に説明をしている。	周知方法を検討中
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策に ついて検討をしているか。	13		・報告書だけではなく、朝の打ち合わせ等 で共有できている。 ・記録の存在と職員同士の会話で再発防止 を考えている。	日報や報告書での共有だけではなく、再 発防止策についての対策も考えている。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・研修機会を増やし、より学びを多くしていきたいと思っている。 	今後も研修を行うとともに、都度、話し合いをすることで共通理解をして対応を行う。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要な児童がいないが、面談や契約等で説明は行っている。 ・啞唖の事態の危険回避以外は身体拘束は行わないと話合っている。 ・まずは当人を安心させて楽にしてあげることが優先してあげたい。 	身体拘束は行わない方向での認識を持ち、保護者さまとの連携も図りながら、児童の安全を第一に考えていきたい。